

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

討議年月日:令和 2年 12月 11日

公表:令和2年12月15日

事業所名:放課後等デイサービスポ

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	11		・室内は複数のスペースがあるため、自分の好きな遊びが、好きな友達と、好きな場所で展開されるように環境設定に配慮している	
	2 職員の配置数は適切である	11		・配置基準+αの体制をとっている ・外出時・送迎時に、若干不安な時もある	・外出時は、行き先やグループ等に無理や負担感が生じないよう、広くスタッフの意見を参考にして、より一層安全な引率・送迎を徹底していく
	3 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	11		・玄関からトイレまでフラットになっている。 ・施設内の庭に出る「子ども扉」は、バリアフリーと言い難い ・介助が必要な子に対しては、スタッフが常時付き添うようにしている。	・子どもたちが安心して過ごせる室内環境を維持していくために、防災とは別に、定期的な環境点検を行っていく
業務改善	4 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	8	3	・エラーや不具合に対する業務改善の取り組みが中心となっており、施設として目指す姿を目標に据えたPDCAに取り組みたい ・コロナもあり、改善活動・PDCAサイクルが機能していると言い難い ・日々の業務に手一杯で、そうとは言い切れない ・支援開始前ミーティングで、職員同士話し合い、各子どもの目標、アプローチ法を意識できている	・PDCAサイクルを意識した業務の進め方について、全スタッフで業務を見直し、改善計画を検討する機会を今年度中に設けていく
	5 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	7	4	・毎年アンケートを実施しており、集計・分析・改善に努めている ・コロナ禍もあり、アンケートをもとに立案されていた改善計画が実行されていない。 ・後手にまわっている	・今年度のアンケート結果を踏まえ、昨年度の課題と併せて、来年度の改善計画を立案していく
	6 この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	11		・HP、WAMNETで公開している	
	7 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	4	7	・外部評価は受審していないが、第三者評価者資格を有するスタッフからの助言を受けている	
8 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	8	3	・コロナ禍で全体で行うことは難しかったが、施設毎の研修とMT・管理者MTを開催している ・コロナ禍もあり、研修・MTは思うようにできていない	・蜜を避けるため、今後も施設毎にMTを実施していく。新たな取り組みである管理者MTでは、管理者のサポート体制を充実させ、施設間の横断的課題を共有・検討できるようにしていきたい ・外部研修は希望者を募り、参加スタッフが後日復命研修を行うことで資質向上につなげていきたい	

適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	10	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・サービス等利用計画、年2回の面接、日々の記録、保護者からいただく検査結果をもとに、サービス調整会議を行い計画を作成している</li> <li>・アセスメントシートのフォーマットを改良し、ニーズや課題を明確に捉えられるよう工夫している</li> </ul>	
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	9	2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・希望する利用者や、有用と判断する利用者(保護者の同意を得た場合)にVINELAND-IIを実施している</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者にVineland-II、LDI-Rを備えていることを周知し、希望される方に広く実施できるようにしていく</li> </ul>
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	11		<ul style="list-style-type: none"> <li>・季節・天気・メンバー・興味・ブーム等、子どもが喜び楽しんでくれる予定をチームで立てている</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・活動や遊びのバリエーションを増やすとともに、子どもたちからのリクエスト等を聴取する仕組みも検討し採り入れていく</li> </ul>
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	11		<ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもの楽しむ様子・喜ぶ姿を第一に考え、柔軟に対応している</li> <li>・毎日工夫を凝らした活動を行っている</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・同上</li> </ul>
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	11		<ul style="list-style-type: none"> <li>・時間のボリュームに合わせた活動内容の検討は、常日頃から意識している</li> </ul>	
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	11		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ボカラボットという施設の特性、期待されている役割を十分に認識した上で、放課後等デイサービスであるボカラボットだからこそ子どもの成長に寄与できる部分を、サービス担当者会議等で再考していきたい</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・施設MTにて、スタッフの意識の共有を図っていききたい</li> </ul>
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	11		<ul style="list-style-type: none"> <li>・個別規定、直近の記録をもとに、利用児童一人一人について打ち合わせを行っている</li> <li>・サービス前後でMTを実施</li> <li>・始業前に打ち合わせを行っている</li> </ul>	
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	10	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・児発管を中心に、一日の療育活動全体と個別児童の特記事項について共有している</li> <li>・ヒヤリハットの確認・記録を行っている。</li> <li>・サービス前後でMTを実施</li> <li>・その日の終わりに打ち合わせを行っている</li> <li>・パートスタッフのため、支援前のような話し合いが、支援終了後に出来たらいいと思う。送迎等で難しいとは思いますが・・・</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・支援終了後のMTは社員のみになっているため、翌日の支援前の打ち合わせで、前日の振り返りも含めた共有を行っている</li> <li>・ヒヤリハットの確認については、フォーマットの改良も含め、より効率的かつ有用性の高い仕組みを検討していく</li> </ul>

17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	11		<ul style="list-style-type: none"> <li>・記録の質については、施設の今後の課題</li> <li>・日々記録していて、子どもの様子が成長がわかって良い</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・記録の精度は上げていくのが課題。どのような書き方が記録として成り立ち、サービスに活かされるのか等の研修を実施する</li> </ul>
18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	11		<ul style="list-style-type: none"> <li>・決められた手順に則って行っている</li> <li>・定期的に保護者面談を実施している</li> </ul>	
19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っている	11		<ul style="list-style-type: none"> <li>・基本活動を押さえつつ、ボカラボットの戸笈色を出せるよう工夫している</li> </ul>	

関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	11		・施設内で検討し、最適者を選んでいる	
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	11		・保護者からの情報提供が主だが、必要に応じてスタッフが学校に連絡をする場合もある。連絡調整等は前もって行うように意識しており、直近の連絡や調整にならないように留意している	
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	2	9	・受け入れていない ・医療的ケア児を受け入れていない	・必要なケースがあれば体制を整えていく
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	4	7	・引継ぎや情報共有の機会が得られない	・機会があれば、市や関係機関に意見を出し、働きかけていく
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	6	5	・該当ケースは2件のみ。簡単なサマリーの作成。口頭での引継ぎに終わっている。	・移行児童に対する支援の在り方について、スタッフ間で検討し、統一した方法を決めておく
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	10	1	・受講している	・受講者が他のスタッフに伝達する復命研修の仕組みを整えていく
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	5	6	・日常的に地域の公園等に出かけ、一般児童との自然な交流の機会を設けている ・公園等にて、健常児と一緒に遊ぶことはあるが、積極的に機会は設けていない ・日々、公園に行ってボカラ以外の子と関わる機会がある	・意図的に交流の機会を設ける必要性はないと、保護者アンケートから判断している。ただし、「地域社会との共生」という観点は常に意識していきたい
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	10	1	・管理者が出席している ・長久手市、名東区の協議会に参加している	
28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	11		・日々の送迎、電話、LINE、面談、連絡帳のやり取り等で共通理解に努めている ・保護者との連絡の取り合いを密にし、親からすると安心できるように取り組んでいる	・最も保護者とコミュニケーションをとる機会の多い送迎について、保護者に満足してもらえる関わりや、どのようなアプローチができるのか、をスタッフ間で検討する研修を企画している	

	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	7	4	<ul style="list-style-type: none"> <li>・必要または求めに応じ、ペアレント・トレーニングの知見を活かした相談援助を行っている</li> <li>・ペアレント・トレーニングは行っていないが、要請があればその都度相談を行っている</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今後も保護者からの相談や要請があれば内容に応じて管理者もしくは適任者が相談援助を行っていく。相談機能について、改めて保護者に周知をしていく</li> </ul>
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	11		<ul style="list-style-type: none"> <li>・契約時に1時間程度時間を取って丁寧な説明を心掛けている</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今後は、変更等があればその都度LINE・HP等を活用して周知していく</li> </ul>
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	11		<ul style="list-style-type: none"> <li>・LINE、電話、面談等により、悩みや相談に対応している</li> <li>・必要性を勘案し、保護者の同意を得た上で、学校や相談支援事業所等との連携も行っている</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者がより気軽に施設に相談できるよう、保護者に相談の受付について周知をしていく</li> </ul>
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	2	9	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今年度はコロナの感染拡大防止のため、例年行っている一切の保護者交流行事、イベントを中止している</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・感染状況等を注視しながらではあるが、来年度の年間計画には保護者同士の連携を支援していけるようなイベント・取り組みを企画する</li> </ul>
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	11		<ul style="list-style-type: none"> <li>・苦情解決制度を設けている</li> </ul>	
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	9	2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・取り組みが不十分で改善の余地がある</li> <li>・定期的に写真の提供や、送迎時に日々の様子を伝達している</li> <li>・ポカラ会報などが作成できたら、と考えている</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・HPの「ニュース・情報」を定期的に更新できるように取り組んでいく</li> </ul>
	35	個人情報に十分注意している	11		<ul style="list-style-type: none"> <li>・不必要なコピー・個人情報の取り扱いについて、スタッフ全員がきちんと認識しているのが不安</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・入職時にはスタッフに説明をしているが、改めて内部研修にて「個人情報の取扱い」について取り挙げる予定</li> </ul>
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	10	1		<ul style="list-style-type: none"> <li>・利用者に合わせたコミュニケーション方法を保護者、スタッフ間で共有し、文書化して対応を統一するなどして工夫し、実践していく</li> </ul>
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	8	3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今年度は実績・予定なし</li> <li>・コロナ禍でオープンな招待は出来ていない</li> <li>・地域に出て行動することはあっても、招待には至っていない</li> <li>・子ども世帯の多い地域だと思うので、日曜日に駐車場で開催されるマルシェは素敵な活動だと思う</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・感染状況等を注視しながらではあるが、来年度の年間計画には、「招待」するかどうかは検討の余地があるが、地域交流という目的に合うイベント・取り組みを企画していく</li> <li>・毎月第2日曜日に開催されるマルシェも継続していく予定</li> </ul>

非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	11		・整備している	・周知の点で取り組みが不十分であり、今年度中に施設が有するマニュアルをHP等で周知していく
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	9	2	・法定通り訓練を行っている ・実施後に再度周知が必要 ・十分とはいえない	・定期的な訓練は行えているが、保護者への周知が不十分のため、周知方法は改善していく
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	9	2	・今年度はスタッフを集めて行っていないため、オンラインや少人数で開催予定	
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	9	2	・身体拘束は行わない方針 ・身体拘束の必要性の高い児童の受け入れは基本的にしていない。 緊急時に限っては契約時に説明している	・契約時に説明しているが、対応・対策としては十分であるか、管理者MTで議論していく
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	7	4	・医師の指示書の提出まで求めているが、内容は保護者に確認し配慮をしている ・面談の際に、アレルギーの有無、悪化していないか、新規のアレルギーはないか、など丁寧に聞き取りを行なっている ・保護者から情報提供があった時は個別規定等により、全体周知している	
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	9	2	・事例は日々収集しているが、分析と対策に今後は力を入れていきたい ・ヒヤリハットは出しているが、事例集の作成共有はされていない	・リスクマネジメントの取り組みについては、大幅に見直しを行い、来年度から新たな取り組みに移行し運用していけるように準備を進めている